



図4 スマート IoT 照明などを使ったデジタルアートの制作

2日目の午後には、実際にどのような環境に関する情報をどこで取得すればよいか、また、どのように表現すればよいかについて議論を行った。以下に挙げられた計測例を示す。

- 新幹線の騒音
- 川の上流下流における水質（pH 値、透明度など）
- PM2.5 などの大気汚染
- 空の青さ（空気の透明度）
- 気温・湿度
- 海の透明度

今後、議論を深め、実際にデータの取得を目指す予定である。



図5 ワークショップの様子(1)